

## 次々回地域市民参加懇談会の開催について（案）

### 1. 開催日時

平成19年12月中下旬または平成20年1月中下旬

### 2. 開催場所

富山県富山市

### 3. 開催テーマ

（案1）

原子力 ～知りたい情報は届いていますか～

「新潟県中越沖地震に学ぶ」

内容：

「市民参加懇談会 in 横浜」と同様のテーマで実施し、より立地地域に近い都市部でのご意見をうかがう。

（案2）

原子力 ～知りたい情報は届いていますか～

「原子力発電所における緊急時の情報提供」

内容：

「市民参加懇談会 in 横浜」よりも、原子力発電所における緊急時における立地地域および消費地域への情報提供の在り方のテーマに絞った形で、現状等を説明しつつ参加者との意見交換を行う。その際、地震災害と原子力発電所のトラブルが同時に起こった新潟県中越沖地震の柏崎刈羽原子力発電所の状況とその後の報道等について、有識者から話を伺い、議論の参考とする。

### 4. 招へい者候補案

- ・ 地方自治体（富山県、富山市）
- ・ 開催地市民グループ代表
- ・ 柏崎市／刈羽村住民代表

- ・報道関係（例えば、原子力報道を考える会 阿部道子氏（元放射線医学総合研究所養成訓練部長））
- ・原子力に関する世論調査の研究者（例えば、エネ総工研 下岡浩氏）
- ・地震の専門家
- ・耐震設計の専門家
- ・東京電力

## 5. 開催プログラム案

- 第1部 ・各パネリストによる、ご意見発表（一人10分程度）  
           ・パネルディスカッション
- 第2部 ・会場参加者からご意見を伺う  
           （事前に参加者にご意見を伺い、当日の議論の参考とする。）

## 6. 開催時間等

- ・開催日      : 平日又は休日
- ・開催時間   : 日中又は夕刻
- ・開催時間配分: 第1部 90分、第2部60分

## 7. 会場レイアウト

- ・スクール形式（主に消費地開催に使用）
- ・パネリストを参加者が囲う形式（主に立地地域開催に使用）

## 8. 参加募集人数

150～200名程度